



学校図書館実践事例集

本と子どもをつなぐ学校図書館 ～沖縄県立名護高等学校～



生徒が気軽に 訪れる図書館づくり



本が好きな子にもそうでない子にも図書館に行けば何か楽しいことがある!と思わせるような取組みを紹介します。

1 イベントの企画・実施



■イベントを実施することで「図書館は楽しいところ!」を演出する

読書旬間、読書週間、読書月間など、各学校でもさまざまな図書館イベントを実施していると思いますが、ここでは各学校のアイデアを紹介します。

POP コンテスト

読書旬間のイベントは学校全体で取組んでいます。
学校長もちろん参加しています。



POPと一緒に本も展示します。



POP コンテストは回数を重ねるごとに、だんだんと手の込んだものが増えていったようです。



とにかく図書館に来館してもらうことを目的とした企画です。

読書の木

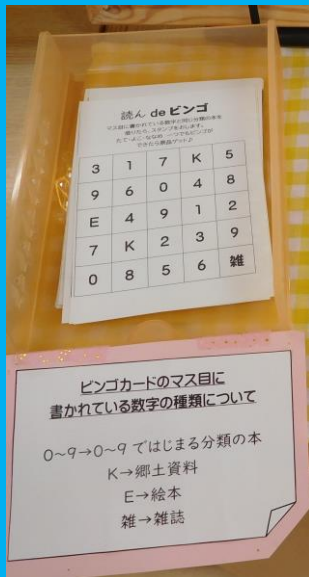


だれでも参加 OK!
自由に楽しく図書館の
木を育ててください。

各学年・職員共にステキな木になりました。



読書ビンゴ『読んdeビンゴ』



読書旬間中のイベントです。

生徒たちが良く利用する本は9類(文学)が多いので、他の分類の本も楽しんで利用してもらえるように工夫しました。どのような分類があるのか、分類とは何かを覚えてもらう機会にもなりました。

ビンゴが達成すると図書追加貸出券や文房具のプレゼントがあります。

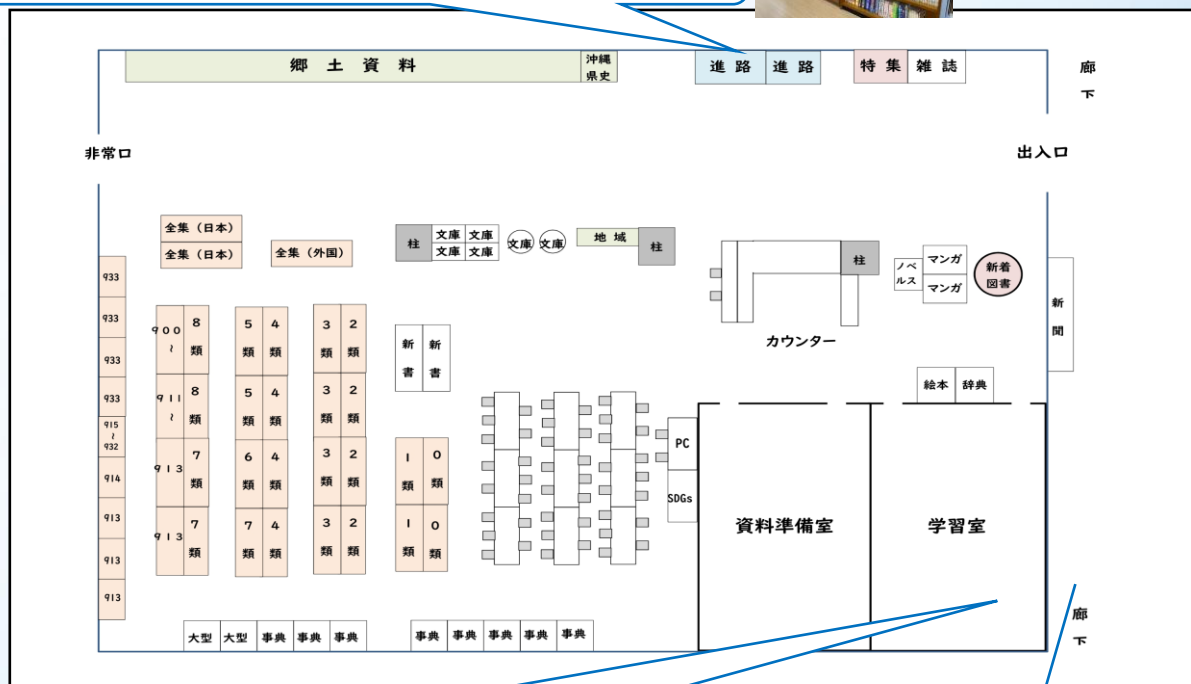
2 図書館の配架・レイアウトの工夫



■館内フロアマップ

進学や就職などの進路の本のコーナーや独立した自主学习室など、進学校ならではの工夫があります。

よく使われる進路関連の本はカウンター前に配架しています。



学習室は生徒が集中して自主学习に励めるようになっています。



廊下には生徒の作品が掲示されています。生徒参加型の投票イベントも行っております。



国語の授業で取り組んだ『文壇ストレイドックス』。誰の作品がいいか学校全体で投票します。

生徒と本との 「であい」をつくる



9類に偏りがちな本の貸出し…そこで子どもたちにより多くの本に触れてもらうための取組みについて紹介します。

1 授業との連携



■国語の授業との連携

図書館と特に繋がり深い教科である国語の授業。図書館を使ったユニークな授業を紹介いたします。

この授業に力を入れました！！

文壇ストレイドックス

文壇で活躍する(した)作家を調査し、オリジナルのキャラクターを作成。

- ★図書館内には「文豪特集」を設置。
- ★完成した作品(キャラクター)は図書館前の廊下に掲示。



……その他……
授業でならう範囲の資料をコーナーを作り、生徒たちの学習意欲を刺激します

2 生徒たちへの発信

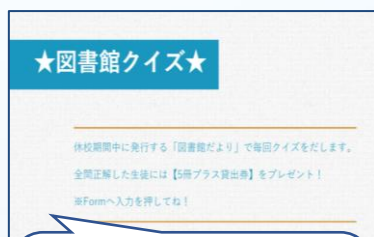


■図書館だよりでクイズ発信

コロナ禍で学校が休校になり、図書館を利用できない生徒にも図書情報の発信を欠かしませんでした。Microsoft Office のアプリケーション“Sway”を用いて、デジタル版の図書館だよりを作成。作成した図書館だよりは各クラスの Teams(Microsoft Office のアプリケーション)にて発信しました。



パソコン・スマホから
閲覧 OK。



作品&作者クイズや分類クイズなど
図書館に関するクイズ
を出題!



図書館クイズは Microsoft Office の
アプリケーション“Forms”を使用して作
成。生徒がクイズに答えて送信すると、
その答えは司書のもとに届きます。

3 地域との連携



■近隣校との連携

北部支部の学校同士で各校の貸出冊数ベスト10を共有し、展示します。学校にない本はリクエストも受け付けています。

近隣校同士で定期的に研修も行っているため、悩みを相談したり、各学校の状況や良いところを知る機会にもなっています。



他の学校はどんな本が人気か学校ごとの違いがあるのかが『貸出ベスト10』で分かります。

■公共図書館との連携

教職員が授業で利用したい資料がある場合や生徒が課題等に必要情報を探している場合は、本校に所蔵している資料に加えて地域の公共図書館から集めて提供しています。

名護高等学校図書館では、学校経営方針の一つである「教育活動の基軸は生徒」に基づいて図書館を運営しています。司書と司書教諭が連携し、図書館を利用した授業の実施や授業で作成した作品の展示会を開催することで、図書館を利用する機会を設けています。

また、本校の資料だけではなく公共図書館の資料を活用した教職員への支援にも力を入れることで、生徒の教育活動の充実につなげています。